

ALPS LOGISTICS CO.,LTD.

株式会社アルプス物流

【証券コード:9055】

<http://www.alpsbutsurey.co.jp/>

2006年9月中間決算説明会

2006年11月9日(木)

代表取締役社長 安間 洋一

注意:本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績等は、状況の変化等により、記載されている予想数値と異なる場合があります。

【目次】

第Ⅰ部 : 2006年9月中間決算概況

第Ⅱ部 : 2006年度の基本戦略及び下期の重点施策

1. 電子部品物流

2. 消費物流

第Ⅲ部 : 2007年3月期の見通し

第 I 部 2006年9月中間決算概況

1. 連結中間決算概況
2. 単独中間決算概況

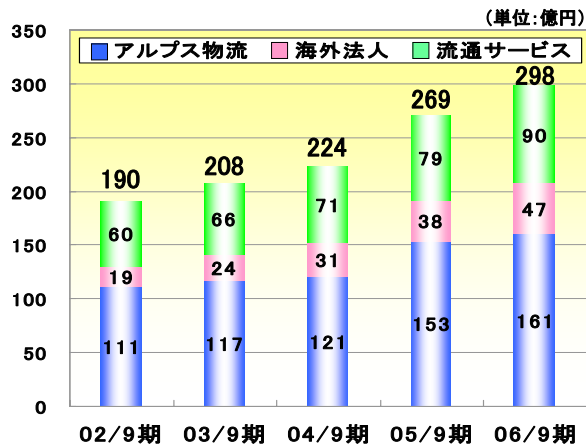
I-1. 連結中間決算概況 【連結決算概況】

(単位:百万円)

	2005/9期	2006/9期		期初予想
	実績	実績	増減率 (%)	
売上高	26,901	29,807	10.8%	28,200
営業利益	2,528	2,824	11.7%	2,600
経常利益	2,519	2,914	15.7%	2,600
中間純利益	1,268	1,589	25.4%	1,380

【連結売上高】

● 売上高の推移



※各会社の売上高は連結消去後の数値です

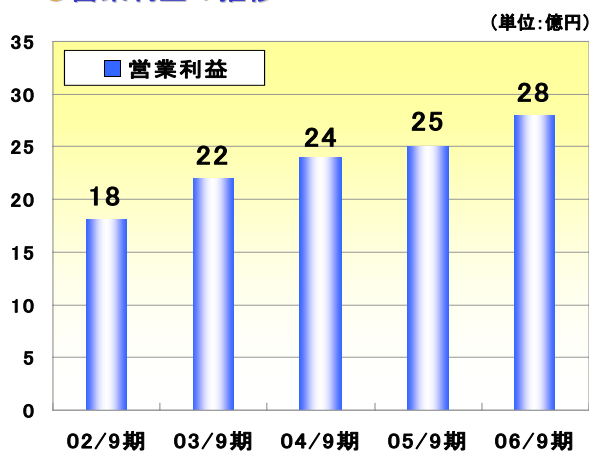
● ポイント

前中間期比 +29億円 (+10.8%)

- 単独での増収 +9億円
- 海外法人での増収 +9億円
- 流通サービスでの増収 +11億円

【連結営業利益】

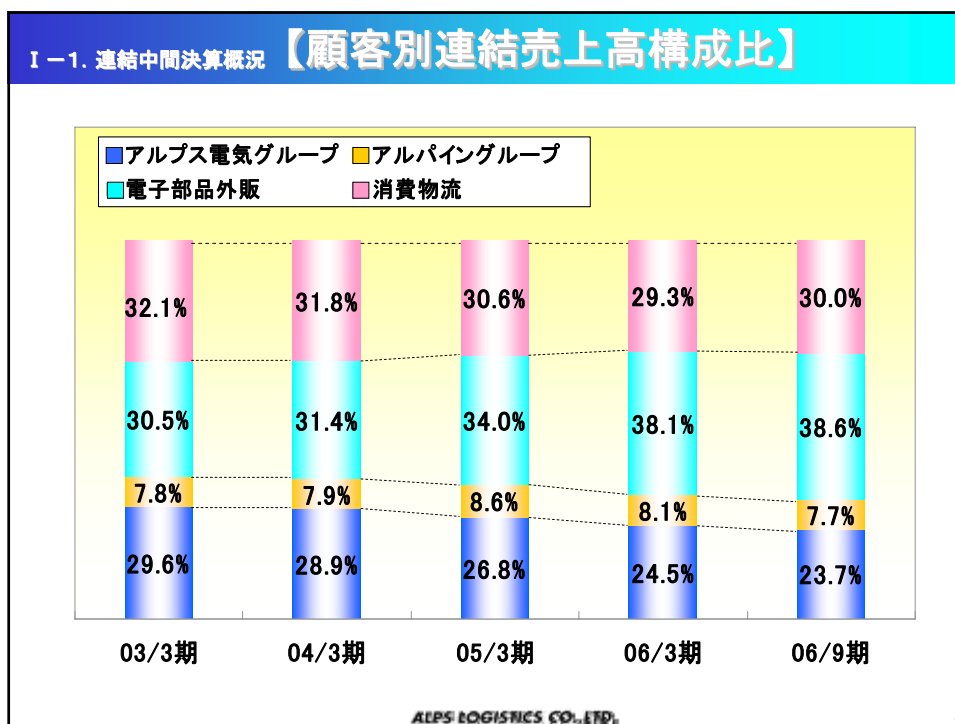
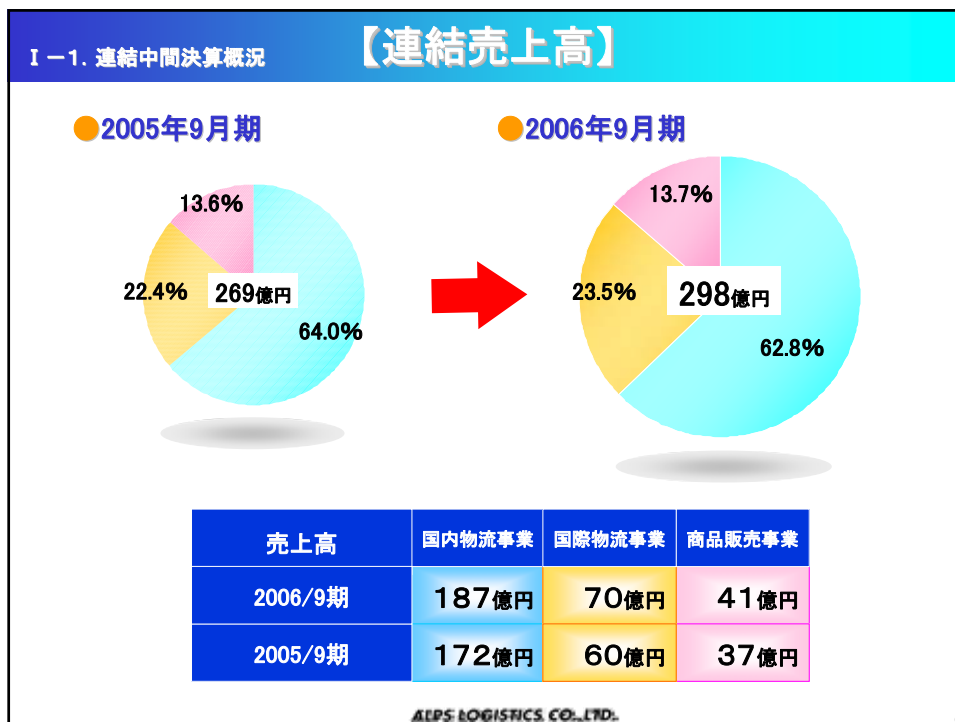
● 営業利益の推移



● ポイント

前中間期比 +3.0億円 (+11.7%)

- 国内物流
増収による利益増 +1.3億円
- 国際物流
海外法人での増収による利益増 +0.9億円
- 輸出入事業(単独)での利益増 +0.7億円



【単独決算概況】

(単位:百万円)

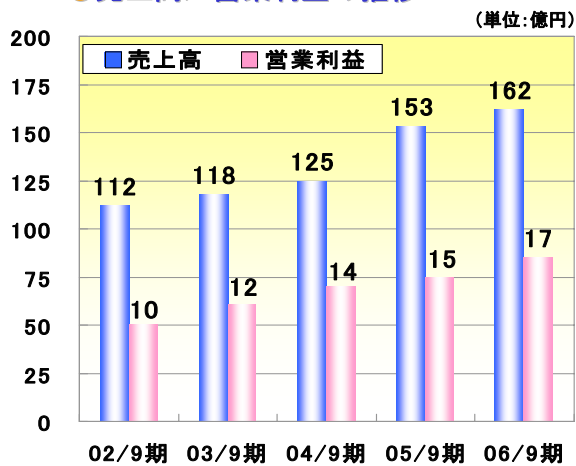
	2005/9期	2006/9期		期初予想
	実績	実績	増減率 (%)	
売上高	15,288	16,164	5.7%	15,350
営業利益	1,547	1,652	6.8%	1,600
経常利益	1,724	1,877	8.9%	1,770
中間純利益	1,019	1,200	17.8%	1,090

ALPS LOGISTICS CO.,LTD.

8

【単独決算概況】

●売上高／営業利益の推移



●ポイント

- 売上高
(前中間期比+9億円・+5.7%)
・一般向け売上の増加
- 営業利益
(前中間期比+1.1億円・+6.8%)
・増収等による利益増

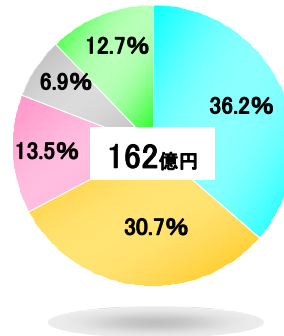
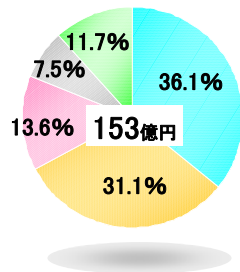
ALPS LOGISTICS CO.,LTD.

9

【単独事業別売上高】

● 2005年9月期

● 2006年9月期



売上高	運送事業	保管事業	輸出入貨物取扱事業	包装資材販売事業	成形材料販売事業
2006/9期	59億円	50億円	22億円	11億円	20億円
2005/9期	55億円	48億円	21億円	11億円	18億円

第II部 2006年度の基本戦略 及び下期の重点施策

1. 電子部品物流

- 事業環境
- 2006年度基本戦略
- 2006年度下期重点施策

2. 消費物流(流通サービス)

- 事業概況
- 売上高の推移

1. 電子部品物流

- 事業環境
- 2006年度基本戦略
- 2006年度下期重点施策

■ 市場動向

- 1) 電子部品業界はエレクトロニクス産業の中核として、今後も成長が期待される
- 2) 電子部品の技術革新・流通革新が進む
- 3) 米国景気の鈍化傾向及びIT関連の在庫調整が懸念される

■顧客動向

1) 荷主のSCM思考による物流の合理化ニーズはますます増大

- ◆ 在庫削減、L/T短縮、トータル物流コストの削減
- ◆ 物流ルートの見直し、物流拠点の統廃合、業務のアウトソーシング化

2) 荷主から要請されるサービス内容の多様化が進展

- ◆ グローバルでフレキシブルな生産への対応
- ◆ 情報サービス、品質保証体制の高度化への対応
- ◆ 環境問題への対応

■業界動向

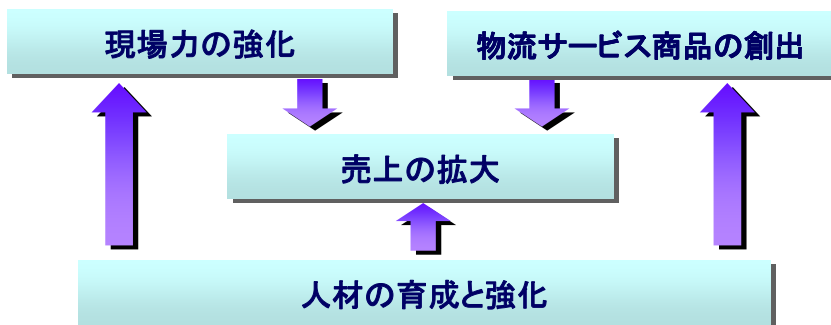
1) 物流業界における再編(提携・M&A)の進行

2) 大手物流業者、メーカー物流子会社による電子部品物流への参入拡大と競争激化

【基本戦略】

電子部品に特化したグローバルな
総合物流事業を展開し、業容の拡大を図る

重点戦略



【重点施策】

1) 現場力の強化

- (1) 高品質・高効率・最短L/Tの徹底追求
- (2) 電子部品に特化した強みの発揮
- (3) システム化による事業体質の強化

2) 物流サービス商品の創出

- (1) 物流サービス商品の開発推進
- (2) **グローバル・ネットワークの拡充**
- (3) **グリーンロジスティクスへの取組み推進**

3) 売上の拡大

- (1) 顧客指向の徹底
- (2) マーケティング思考による拡販推進
- (3) 外販拡大に向けた営業体制の強化

4) 人材の育成と強化

- (1) 計画的階層別人材育成の推進
- (2) 戦略的な人材確保

(1)九州での物流拠点の設立
(福岡営業所)

◆目的

- ①九州地区におけるビジネスの拡大とサービスの向上
- ②博多港、福岡空港を活用した国際輸送ネットワークの構築
 - モーダルシフトの展開
 - LT短縮

九州自動車道福岡ICから2分、博多港まで7km、福岡空港まで10kmの立地



(1)九州での物流拠点の設立
(福岡営業所)

◆場所

福岡市東区蒲田2-38-3
久留米運送桝内 8階

◆倉庫面積 2,143 m²

◆スケジュール

2006年9月
準備段階として配送センターの稼働開始

2007年1月
福岡営業所として本格稼働を予定



【グローバル・ネットワークの拡充】

(2) 中国拠点・トラック輸送ネットワークの拡充



ALPS LOGISTICS CO., LTD. 20

【グローバル・ネットワークの拡充】

(2)-1. 中国拠点の拡充

ニンボウ
寧波支店稼動開始(2006年8月)

- ◆アルプスグループの寧波現法の輸出入・保管業務より事業を開始。
- ◆フォワーディング業務を中心に一般顧客への拡販を進める。

アモイ
厦門支店の設立

- ◆設立予定時期
2006年12月
- ◆目的
 - 1) 厦門地区顧客の保管業務、輸出入業務の受託
 - 2) 厦門地区貨物の運送、及び沿岸部長距離ネットワークの中継

ALPS LOGISTICS CO., LTD.

21

(2)-2. 中国内トラック輸送
ネットワークの拡充

◆ 自社運行による定期運行
路線の拡大

◆ 多便化の推進

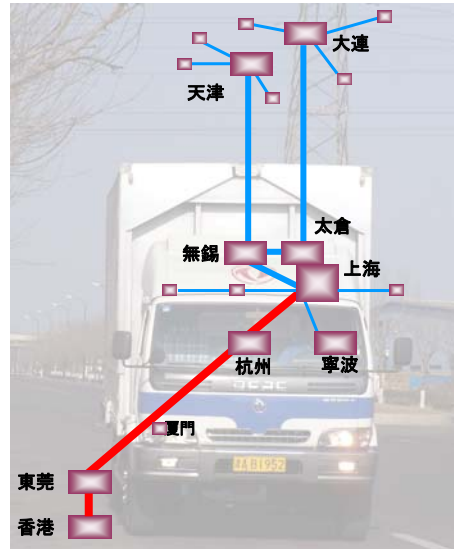
【運用例】

上海 ↔ 東莞 → 香港

1,800km / 片道24時間運行

メリット

- AIRと同じリードタイムで運送。
運送コストの削減が可能。
- 貨物の積換え回数減により、
高品質な運送サービスを提供。



1. 燃料消費量の低減

- ① エコドライブの推進
- ② CO2排出量システムの構築
 - ・06/4より運用開始
 - ・荷主への排出量データの提供
- ③ モーダルシフトへの展開
 - ・韓国発の輸入貨物を、博多港からJR貨物での国内運送を実施

2. 環境保全活動の推進

- ① 廃棄物の削減 → 有価物処理への変更
- ② 使用電力量の削減

2. 消費物流(流通サービス)

■事業概況

■売上高の推移

II-2. 消費物流(流通サービス)

【事業概況】

事業概要

- ◆生協の個配・流通加工を中心に、消費物流分野で一貫サービスを提供
- ◆少量多品目・多頻度・小口配送対応、24時間365日の作業体制

事業方針

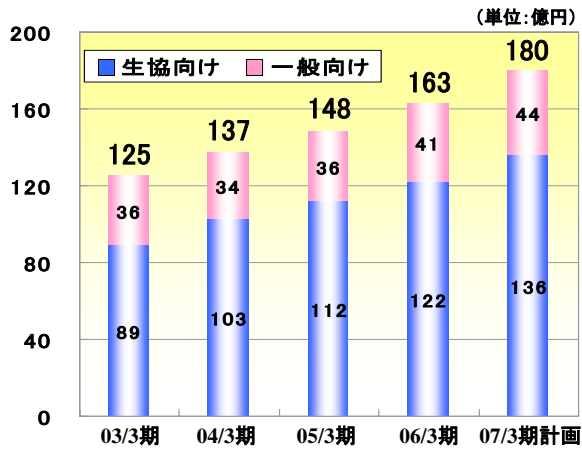
- ◆ブランド力のある「消費・生協物流に特化した総合物流企業」を目指す

重点施策

- ◆生協の物流ニーズに対応した個配業務を中心とする受託拡大
- ◆騎西物流センターの特徴を活かした一般荷主向け拡販強化
- ◆人材の育成と管理体制の強化
- ◆ドライバー教育の徹底により事故ゼロの達成と自動車保険優良割引率85%の維持を目指す

【売上高の推移】

●売上高の推移



●ポイント

前期比 +17億円
(+10.6%)

- 個配を中心とした生協向け売上増 +14億円
- 通販等での一般向け売上増 +3億円
- 生協向け75% 一般向け25%

第Ⅲ部 2007年3月期の見通し

1. 連結業績の見通し
2. 単独業績の見通し
3. キャッシュ・フローと設備投資計画
4. 1株当たりの配当計画

【連結業績の見通し】

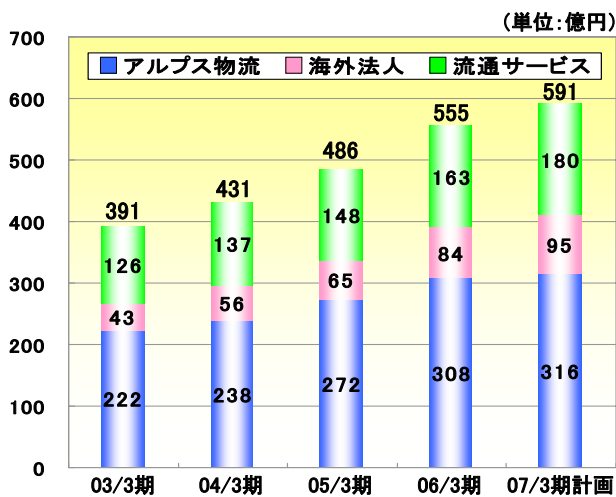
(単位:百万円)

	2006/3期		2007/3期計画		
	実績	構成比 (%)	予想	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	55,497	100.0%	59,100	100.0%	6.5%
営業利益	5,393	9.7%	5,650	9.6%	4.8%
経常利益	5,419	9.8%	5,750	9.7%	6.1%
当期純利益	2,847	5.1%	3,040	5.1%	6.8%

【連結売上高の見通し】

● 連結売上高の見通し

● ポイント



前期比 +36億円 (+6.5%)

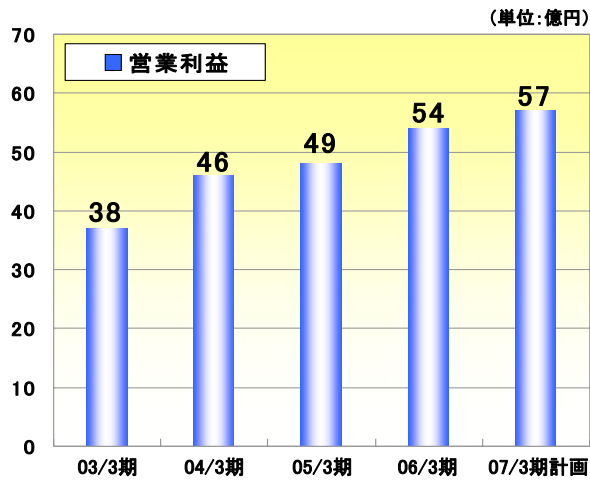
- 単独での増収 +8億円
- 海外法人での増収 +11億円
- 流通サービスでの増収 +17億円

※各会社の売上高は連結消去後の数値です

【連結営業利益の見通し】

● 連結営業利益の見通し

● ポイント



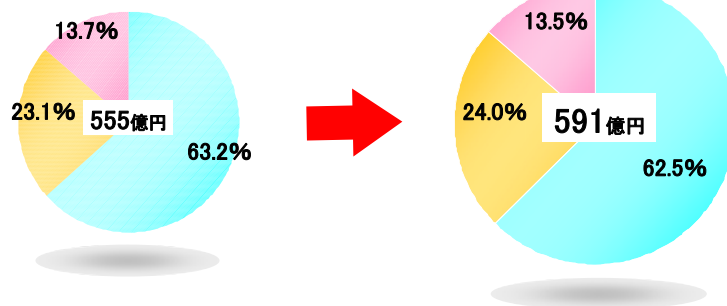
前期比 +2.6億円 (+4.8%)

- 国内物流
増収に伴う利益増 +2.5億円
- 国際物流
価格低下や物流ルート変更等により営業利益は前期比横ばい

【セグメント別売上高の見通し】

● 2006年3月期

● 2007年3月期計画



売上高	国内物流事業	国際物流事業	商品販売事業
2007/3期計画	369億円	142億円	80億円
2006/3期	351億円	128億円	76億円

Ⅲ. 2007年3月期の見通し

【単独業績の見通し】

(単位:百万円)

	2006/3期		2007/3期計画		
	実績	構成比 (%)	予想	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	30,829	100.0%	31,600	100.0%	2.5%
営業利益	3,148	10.2%	3,200	10.1%	1.6%
経常利益	3,412	11.1%	3,530	11.2%	3.4%
当期純利益	2,011	6.5%	2,100	6.6%	4.4%

ALPS LOGISTICS CO.,LTD.

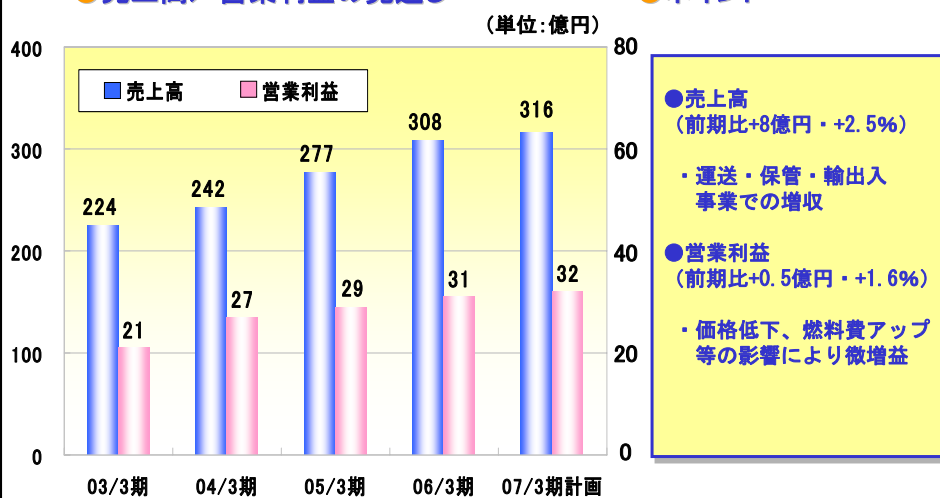
32

Ⅲ. 2007年3月期の見通し

【単独業績の見通し】

● 売上高／営業利益の見通し

● ポイント

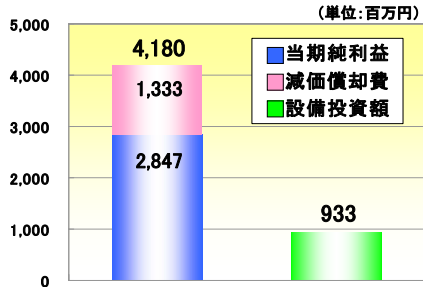


ALPS LOGISTICS CO.,LTD.

33

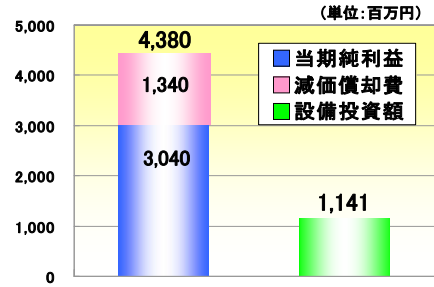
Ⅲ. 2007年3月期の見通し

【キャッシュ・フローと設備投資計画】



06/3期実績

2006年3月期 設備投資実績	
●アルプス物流・海外法人 車両購入	104
●流通サービス 車両購入	295
●成田新倉庫追加工事	91
●その他	443
合計	933



07/3期計画

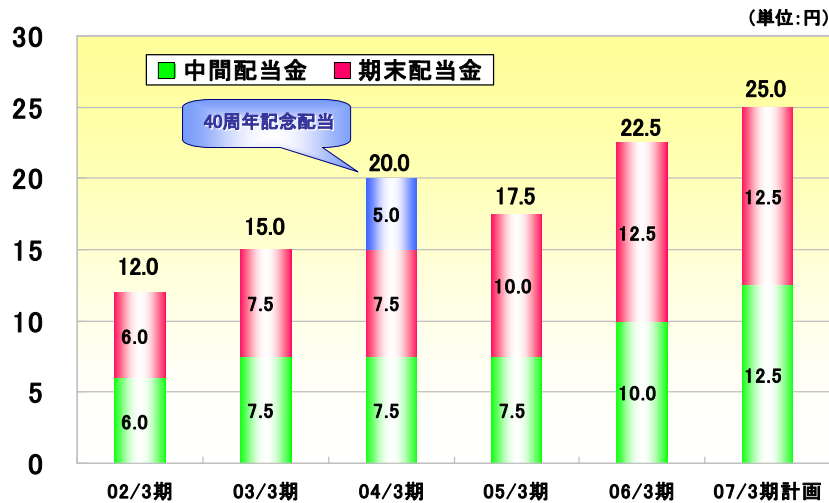
2007年3月期 設備投資計画	
●アルプス物流・海外法人 車両購入	147
●流通サービス 車両購入	406
●倉庫・建物関連投資	279
●その他	309
合計	1,141

ALPS LOGISTICS CO.,LTD.

34

Ⅲ. 2007年3月期の見通し

【1株当たりの配当計画】



ALPS LOGISTICS CO.,LTD.

35